

★令和5年度調査研究に関する事業について

【教育課程に関する調査実践研究】(研究員による研究)



1 研究主題

「スタディ・ログ」を生かして自ら学びを調整する子を育てる算数授業
 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動を工夫して～

2 研究概要

令和3年3月に文部科学省より「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの充実に関する参考資料」が出された。そこで、令和4年度の研究では、児童が自ら「はてな(課題)」を見つける力や「やり方(その課題の解決方法)」を考え出す力を高めることを目指して、算数科の授業で「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素を含んだ学習活動を設定し、児童が主体者となって学びに向かう授業づくりに取り組んだ。その結果、児童が主体的に学習を進めるためには、児童の意欲を維持するための手立てや工夫が必要だということが分かった。

そこで、本研究では、小学校算数科の「データ活用」領域において児童が「スタディ・ログ」(デジタル化された学びの記録)を生かして自ら学びを調整する姿をめざし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動の在り方を探っていきたい。

3 研究の計画

一学期				二学期					三学期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究テーマの決定、研究計画	授業実践協力校への依頼 先行研究等の分析と	授業実践前の児童アンケートの実施、実態把握	授業実践協力者との教材研究	授業実践協力者との教材研究	授業実践協力校にて授業を参観 授業計画案の作成	授業実践協力校にて授業実践 授業内容の検証	授業実践後の児童アンケートの実施・分析	研究論文の作成	研究論文の作成・研究発表の準備	運営委員会にて研究の発表	所報に研究論文の掲載。

【地域教材(わたしたちの草津)の活用に向けて】

1 「わたしたちの草津」編集委員会の活動内容(予定)

ワークシート・評価テストの編集作業とデジタル問題の作成を行う

昨年度、社会科副読本「わたしたちの草津」の指導書を作成したので今年度は、その指導書に合わせたワークシート・評価テストの編集とタブレットPCで取り組めるデジタル問題を作成する。

2 今年度の予定

- 編集委員会(推進委員会)の開催……………令和5年5月26日(金)
- 編集委員による作成、編集作業……………令和5年6月～
- 編集委員会で進捗状況確認等の作業……………令和5年8月22日(火)ごろ
- 編集委員で最終作業、推進委員で原稿チェック……………令和5年9～11月
- 正副委員長と事務局で最終チェック……………令和5年12月末
- 原稿を教育委員会へ回議後、印刷・CD化……………令和6年1月～

